

J R 総連通信

2020年10月21日 No.1402

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

九州激励報告③ 御礼文を頂きました！

10月13～14日にかけて取り組みました九州激励行動に対して、御礼文を頂きましたのでご紹介いたします。

人吉市長 松岡隼人様

拝啓 秋冷の候、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

今回の令和2年7月豪雨災害に際しまして、義援金をお寄せいただき、また皆様方の御厚情あふれる激励や御支援を賜り、深く感謝いたしますとともに厚くお礼申し上げます。

今回の豪雨により、住まいを失ったり、心に傷を負ったり、生活に支障を来した人の数は計りしれません。

そのような中、皆様からいただいた心温まるお心遣いは、被災者の方々にとりまして大きな助けとなり、明日への希望につながるものです。お預かりした真心は、被災者の方々のもとへしっかりと届けさせていただけます。

今後とも、人吉市の復興にお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のますますの御健勝と御発展を祈念申し上げ、お礼の御挨拶とさせていただきます。

令和2年10月吉日

全日本鉄道労働組合総連合会 様

熊本県 人吉市長 松岡隼人



JR 貨物労組鹿児島分会 小森分会長

豪雨による職場激励に対する御礼

この度は、九州豪雨災害による激励として、鹿児島県の職場及び門司にも足をお運びくださり、支援物資並びに全国の組合員の仲間からのあたたかいご支援、誠に感謝申し上げます。このような辛い時に、皆様からのお力添えは非常に心強く、また組合の絆をあらためて感じました。

現在、線路寸断から4か月近くが経ち、ようやく復旧の日程も決まり安堵しているところです。鹿児島県の職場では、乗務できない悔しさを、慣れない日勤という中で、みんなで出来る事を必死に模索して協力して、来る日に備えています。助動にきている3名は、門司での経験を糧とし職場にもちかえりより良い職場を作ろうと、こちらでの乗務に奮闘中です。

今回の経験で、自然災害はいつでも起こりうる恐怖と、それに対する備えを常にしておかなければならないと感じました。そして、それが起きた時に手を差し伸べてくれる、あたたかい絆を受け取りました。これはいつか誰かに返さなければいけません。施されたら施し返す、恩返しです！

本当にありがとうございました。

F L 労組九州支部 工藤支部長

九州豪雨災害による職場激励への御礼

コロナ禍で職場と仕事と生活を守るため、秋の闘いで奮闘されている事に敬意を表します。今年の7月4日九州南部の豪雨災害による列車運休や大幅な列車遅延などが発生しました。肥薩おれんじ鉄道では今現在も不通であり、熊本と鹿児島間のトラック代行業務は継続しています。

こうした中で大変忙しいところ、JR貨物の最南端の駅＝鹿児島貨物ターミナル駅及び日本フレートライナー鹿児島営業所にお越しいただき、支援物資並びにJR総連・貨物労連の組合員からの熱い激励に対し、心から感謝申し上げます。

現在も線路不通から4か月近くが経ち、ようやく11月1日から運転再開の日程が決まったところです。自然災害が毎年のように多発している中で、労使一致協力して乗り越え、JR総連・貨物労連に結集する仲間と共に、安心して暮らせる平和な社会とより一層会社と組合の発展のために奮闘して行きます。この度は、誠にありがとうございました。

日本フレートライナー労働組合
九州支部長 工藤 和幸